

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 02 月 04 日作成)

小委員会名	環境行動研究小委員会	主 査 名：西田 徹 就任年月：2012 年 04 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：菊地 成朋 主 査 名：西出 和彦
設 置 期 間	2012 年 04 月 ～ 2016 年 03 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>[設置目的] 研究会の開催、出版、情報提供を通じて、「体験される環境・場所」に関する研究成果や環境行動研究の基礎的知見の整理・発信を行う。</p> <p>1. 環境行動研究に関する研究会の開催、居場所づくりの方法論に関する検討</p> <p>2. 国内・海外での研究成果発信</p> <p>3. 文献・情報源の整理とデータベース作成、ウェブサイトでの発信</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し	
	西田徹 (武庫川女子大学・主査)、垣野義典 (豊橋技術科学大学・幹事)、田中康裕 (清水建設・幹事)、伊藤俊介 (東京電機大学)、大野隆造 (東京工業大学)、加藤悠介 (豊田工業高等専門学校)、鈴木毅 (大阪大学)、橘弘志 (実践女子大学)、林田大作 (大阪工業大学)、松原茂樹 (大阪大学)、水村容子 (東洋大学)、山田あすか (東京電機大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>■居場所研究 WG：環境行動研究的視点から、様々な「居場所」における人間と環境の関係をとらえる方法と理論の錬成を行うとともに、生活者の環境改善・問題解決につながる環境の計画・デザイン・利用・維持・管理のための実践的な知見の抽出を行う。</p> <p>■災害と人間行動研究 WG：環境行動研究的視点から、自然および技術的災害に関わる人間行動を研究するための方法論および理論構築をめざすとともに、災害に備えるため、あるいは災害からの生活再建を円滑に行うための環境の維持・創造を目指す。</p>	
2012 年度予算	185,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s17/">http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s17/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	<p>1. H・ヘフト博士講演会「ギブソンとバーカーのアプローチの統合」 (10 月 15 日開催) 参加者数 60 名</p> <p>2. H・ヘフト博士講演会「状況に埋め込まれた行為と生態心理学の起源」 (10 月 17 日開催) 参加者数 50 名</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. 高蔵寺ニュータウン、千里ニュータウンにおいて居場所の事例見学会を行い、居場所づくりの方法論について議論した。</p> <p>2. H・ヘフト博士の講演会、国際学会 EDRA43 においてシンポジウムの実施、EDRA44 でのシンポジウムの提案を行なった。</p> <p>3. 活動成果 (見学会の様子等) をホームページで公開した。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	文献・情報源の整理とデータベース作成にあたっては、参照できる範囲が広いいため、本委員会に関連の深い文献に絞り込むよう、委員同士でのより深い議論が必要と考えられる。